



岩垣 和彦 議員

### 公契約条例設置へ

岡市が発注している公契約において労働者不足、予定価格、公平・公正な競争原理に基づく入札制度のあり方など多く課題がある。また、県が公契約条例を制定した。発注者(市)と受注者(事業者)の責任と役割を明確にするために公契約条例制定への議論が必要では。

**丹生川〜平湯ICまでのルートは**  
岡労働者人口の減少で少ない労働力で産業を維持させ、地域を存続させるには一人当たりの労働生産性向上が不可欠。そこで移動時間の短縮が必要。合併時からの課題でもある。中部縦貫道丹生川〜平湯ICのルートは本郷や栃尾を通過するルートを独自に示すべき。市の態度を明らかにし国・県・関係団体・地域と協議する姿勢が必要。

**漆文化再興について**  
岡伝統文化を支える国産漆の生産が危機的状況である。国産漆は3%に過ぎない。飛騨春慶の品質保持のためにも、漆の増産が必要である、ウルシ林の育成、漆掻き職人や漆芸家への支援策は。



松山 篤夫 議員

### 飛騨春慶に

### 地元産漆を!

が複雑多岐になり、市民のための組織という視点で、組織再編が時代の潮流だとも考えられるが、市の対応は。

**高齢者の移動支援の取り組みについて**  
岡外出困難者の移動支援は、特に公共交通の少ない周辺地域にとっては切実な問題である。県内には70歳以上なら誰もが安く利用できるタクシー利用支援制度を持つ自治体がある。市の支援策についての考えは。



上嶋 希代子 議員

### 誰もが

### 安心して暮らせる

### まちづくりについて

ないか。また、県でひきこもり地域センターが開設された。市内の個人・団体が有志でひきこもり支援を立ち上げている。市でも独自の支援センターの開設が必要では。